

授

五年

筆順 11
オン シュ
ウン さずりけるりかる

成り立ち



「物を受け取る(さずかる)」ことを表した「受」と「才」を組み合わせて作った字です。

「受ける」ことは「さずかる」ことですから、「受」は、「受ける(さずかる)」意味を表すのにも、「さずける」意味を表すのにも使われました。

しかし、「さずかる」と「さずける」とを区別した方がわかりやすいということで、「受」に「才」を加えてこれを「さずける」専用の字としました。

わが国では、「授かる」とも「授ける」とも使いますが、中国では、「授かる」は「受」で、「授」は「授ける」意味にしか使いません。だから、熟語の「授」は、すべて「授ける」意味で、「授かる」意味には使われていませんので、そのことを知っておくとよいと思います。

使い方

▽今日は音楽の授業があります。わたしは音楽の授業が大好きです。音楽は、きつと、神様が人間に授けて下さった最も美しい贈り物です。

▽わたしの得意な料理はスペイン風オムレツです。これはわたしがお母さんから伝授してもらった、特別おいしい料理です。

熟語例

▽授業(学校などで、学問や技術などを教え授けること。)

▽伝授(秘伝などを、教え授けること。)

▽授与(授け与えること。「利根川進教授が、ノーベル賞を授与された」などというふうに、つかいます。)

▽教授(大学の先生。もともとは、学問や技術などを教え授ける意味でつかわれました。)

▽授賞(賞を授けること。「賞を受ける」時には、「受賞」と書きます。)

▽授受(授けることと、受けること、という意味で、受け渡しのこと。「賞品の授受が、とどこおりなく済んだ」などというふうに、つかいます。)

使い方

▽ぼくは機械の修繕が得意です。少しくらいの故障なら、すぐ修理してしまいます。大きくなったら、修業して、機械を直す仕事につきたいと思っています。

▽わたしはとても気が短くて、わがままです。他にもたくさん欠点があります。自分でも、困ったな、と思います。これから、修養に努めて、立派な人になりたいと思います。

熟語例

▽修飾(美しく飾ること。「修飾語」といえば、下に続く体言や用言をくわしく説明したり、限定したりする言葉です。「かわいい犬」の「かわいい」が、修飾語です。)

▽修理(機械などの故障を直すこと。)

▽修繕(「修理」と同じ意味です。直して善くすること。)

▽修養(学問を修めたり、行いを正したりなどして、立派な人になること。)

▽修業(学問や技術などを修めること。「シユウギョウ」とも読みます。)

▽修練(心や技術などを練り鍛えること。)

修

五年

筆順 10
オン シユウ・シユ
ウン おさりめるりまる

成り立ち



「人のせなかを洗い流す」ことを表した「攸」と「美しい」という意味を表した「修」とを組み合わせて作った字です。

「せなかのあかを洗い流して、体を美しく」とのえる「こと」を表した字です。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。

こわれた機械をなおしてりっぱに使えるようにととのえることにも使います。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。

学問や技芸を「おさめ」て、りっぱな人になる意味にも使います。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。「攸」を美しくととのえる「こと」を表した字です。

大ぜいの人が書いたものをついにまとめ、手を入れてりっぱにととのえることを「攸」といいます。